

生活体験

第15回

10日間

温かなホストファミリーと過ごす真夏のクリスマス

オーストラリア・クリスマスホリデーホームステイ & 牧場体験



プログラム参加費

248,000円

旅行代金

11歳以下 227,000円
12歳以上 287,000円
(帰国日年齢)

期間

2019年12月22日(日)
～12月31日(火)

対象・定員

*出発前日が事前研修会です。
小学校3年生～高校3年生
15名(最少催行6名)

研修地

ニューサウスウェールズ州
バサースト

協力

バサースト・ツアーズ

利用航空会社

日本航空(直行便)

*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『事業概要』をご参照下さい。

現地情報

- ◆気候 南半球のオーストラリアは、カラッと過ごしやすい夏です
- ◆気温 最高気温27℃ 最低気温12℃(12月)
- ◆時差 日本から2時間遅れています
- ◆通貨 オーストラリアドル
- ◆概要 内陸の町としては最も歴史が古く、穏やかな牧草が地帯です。夜は南十字星も見られます
- ◆食事 1日3食
- ◆移動 ホストファミリーが送迎

特色

- ◆ホストファミリーは原則1家庭2名
(全体人数が奇数のグループは1家庭3名の家庭もあります)
- ◆コアラ・カンガルー・ウォンバットなど固有動物と触れ合い
- ◆オペラハウスやブルーマウンテンなど世界遺産見学
- ◆イブ・クリスマス・ボクシングデイを各家庭で体験
- ◆異世代交流体験(老人ホーム訪問)
- ◆牧場体験
- ◆通年を通じた交流開始から35年目になります

プログラム

- | | | |
|----------|----|---|
| 12/21(土) | 夕方 | 事前研修会 |
| 12/22(日) | 夜 | 成田空港発 |
| 12/23(月) | 朝 | シドニー空港着 |
| | 日中 | シドニー市内見学
(オペラハウス・ハーバーブリッジ・動物園見学)
ブルーマウンテン見学 |
| | 夕方 | ホストファミリーとマッチング |
| 12/24(火) | 終日 | ホストファミリーとクリスマス |
| 12/25(水) | 終日 | ホストファミリーとクリスマス |
| 12/26(木) | 終日 | ホストファミリーとクリスマス |
| 12/27(金) | 午前 | バサースト市内見学 |
| | 午後 | 牧場見学とBBQ |
| 12/28(土) | 終日 | ホストファミリーと過ごす |
| 12/29(日) | 終日 | ホストファミリーと過ごす |
| 12/30(月) | 午前 | 老人ホーム訪問(日本文化紹介) |
| | 午後 | さよならパーティー |
| 12/31(火) | 早朝 | ホストファミリーとお別れ |
| | 朝 | シドニー空港発 |
| | 夕方 | 成田空港着、通関後解散 |

*天候によりスケジュールが変更になる可能性もあります。



体験談

小5 男子

行く前、どんな人と行くのか、どんなホストファミリーか楽しみと不安があった。初めて会った友達とすぐに仲良くなった。シドニーでオペラハウスやハーバーブリッジを見に行った。ブルーマウンテンは、通り過ぎた時は赤かった。どうして赤いのに「ブルー」とついたのか不思議に思った。ホストファミリーのお父さん、グレッグさんと初めて会う。「ナイストゥーミーチャー」僕はこの言葉から始まった。家について、いろいろな人がきていてきんちょうしながらも、日本からのプレゼントをあげた。子どもは本が好きでしおりを気に入ってくれた。お父さんやお母さんは、おり紙やおき物を気に入ってくれた。オーストラリアにいる間、プールやショッピングにつれて行ってもらったり、ケーキも作ってもらった。いっしょにテレビやゲームもした。時間がすすむのがすごくはやく感じた。パーティーもした。とても楽しかった。僕は家で、しのぶをひろった。するとホストファミリーに「オーベリグッド」と言われた。日本とちがいで、家が一階建ての家が多かった。公園には野生の動物がいた。ポッサムというリスのような動物でどの木にも一匹以上いた。公園が、動物園のようだった。英語はしゃべれなくても、身ぶり手ぶりや調べたりした。老人ホームにも行ったとき日本の文化紹介のコーナーで習字をした。ダンスや歌も老人ホームの人がとても喜んでくれた。最後の飛行機で今までのことをふり返ってみると、それは楽しい思い出ばかり。初めて経験したり見たりした事が沢山あった。カンガルーもコアラもワラビーもかわいかった。バスのドライバーさんに、手紙を書いた。ポワッとむねがツーンとした。さみしかった。長い間、ホストファミリーと歌を歌ったり、ゲームをしたりした時間がすごく大切な時間だった。スーツケースが到着フロアに流れてきた。僕の目にはいつの間にか、涙があふれていた。